

四国周遊型ワーケーションモデル こだわりポイント

徳島文理大学総合政策学部教授 床桜英二

ソラヤマいしづち（西条市）

・観光による石鎚山を中心とした愛媛・高知にまたがるエリアの経済活性化のための商品企画・観光サービス支援などを行う官民連携組織。



小豆島観光戦略会議（小豆郡）

・小豆島の観光・宿泊・交通関連事業者で組織。
・伝統文化・食などを全国情報発信。



三好みらい推進創造協議会（三好市）

・交流拠点「真鍋屋」運営・廃校再生プロジェクト・移住定住促進などまちづくり活動を行う官民連携組織。



新野シームレス民泊推進協議会（阿南市）

・民泊経営者のみならず地域住民、行政、大学を含む官民連携組織。
・平時は民泊、災害時には避難所に切り替える仕組みを構築。



幡多広域観光協議会（四万十市）

・田舎だからこそできるアウトドア体験を中心に、食・文化・農山村体験などのメニューを開発・提供を行う官民連携組織。



（注）住所は団体の主たる事務所所在地。

こだわりのポイント（コース）

- **モデルA** 県域を越えた「ワーケーションモデル」を創る。

- 小豆島～三好コース
- 西条～三好コース

- **モデルB** 地理的条件から、まずはエリア限定モデルを掘下げ、県域を越えたワーケーションモデルに繋げる。

- 土佐清水・黒潮コース
- 新野コース

こだわりのポイント（内容）

- ①多様な場所での働き方－**ハイブリッドワーク**－の実証実験を行うことで、課題を抽出し、改善を図る。
 - ・リモートワークのための情報通信環境
 - ・コロナ禍に対応した安全・安心な執務環境

- ②地元の企業、団体関係者や、地域の人々との交流を通じて、地域の持つ魅力を「**人の魅力を通じて体感**」できる機会を設ける。
 - ・ポストコロナを見据えた、関係人口増、脱炭素実現など課題解決の実践例について意見交換

- ③従来の観光資源などを「**ワーケーションの視点**」から見つめ直し、磨きをかける。
 - ・心身ともにリフレッシュできる体験プログラム

参加を通じて個人的に確認したい点

- 11月10日(水)

「小豆島～三好コース」と「西条～三好コース」が、三好市ウマバ・スクールコテージにおいて合流するタイミングをとらえて、参加者から意見聴取を行い、本格展開に向けた課題分析を行う。

- 11月30日(火)

「土佐清水・黒潮コース」に参加し、大学キャンパスの学生たちに対して、「演習講座」の正式なオンライン授業を行い、「ラーケーション (Learning + Vacation)」の可能性を探る。

持続可能なワーケーションモデルの創出を求めて

- 「参加者（社員）」と「送り出す者（経営層）」と「受入れる者（地域）」の3者がともに腹落ちすることが、持続可能なワーケーションの条件となる。
- 受入れる仲間を増やし、多様な組合せを創り、選択肢を増やすことが、四国周遊型ワーケーションの次なる課題となる。